平成25年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名	日本和装ホールディングス株式会社		上場取引所　東
コード番号	2499	ＵＲＬ　http://www.wasou.com/profile/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）吉田重久	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役管理本部長	（氏名）菅野泰弘	ＴＥＬ　03-3216-0070
四半期報告書提出予定日	平成25年11月12日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第３四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第３四半期	4,309	4.5	108	－	54	－	23	－
24年12月期第３四半期	4,124	△13.6	△267	－	△306	－	△197	－

（注）包括利益　25年12月期第３四半期　20百万円（－%）　24年12月期第３四半期　△196百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第３四半期	2.65	－
24年12月期第３四半期	△21.89	－

（注）平成24年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、平成25年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）当社は平成25年７月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第３四半期	7,410	2,671	36.0
24年12月期	5,442	2,651	48.7

（参考）自己資本　25年12月期第３四半期　2,668百万円　24年12月期　2,648百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	500.00	－	0.00	500.00
25年12月期	－	0.00	－		
25年12月期（予想）				－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

（注）現時点では、期末日を基準日とする配当予想額は未定であります。

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	9.7	340	－	300	－	155	－	17.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

（注）平成25年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益の対前期増減率については、平成24年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益がいずれも損失であったため記載しておりません。

（注）当社は平成25年７月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期３Ｑ	9,002,000株	24年12月期	9,002,000株
②　期末自己株式数	25年12月期３Ｑ	－株	24年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期３Ｑ	9,002,000株	24年12月期３Ｑ	9,002,000株

（注）当社は平成25年７月１日付で普通株式１株を100株に分割し、１単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 4
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
（５）セグメント情報等 …… 6
３．補足情報 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループは、前事業年度の業績赤字からのＶ字回復を目指しながら、引き続き「顧客参加型企業」の方針に基づいた諸施策を実行しております。

春期「無料きもの着付教室」の新規受講者募集では、会員のお客様1,000名が出演する広告を展開し、教室のカリキュラムを一新したところ、新規受講者数は一昨年並みに回復、この受講者を対象に４月から６月にかけて開催した販売機会での売上高は順調に推移しました。

また、８月に開催したコンテスト「きものブリリアンツ全国大会」では、約500名の会員のお客様がモデルとして出演し、世界最多モデルの着物ファッションショーとしてギネス世界記録に認定されるなど盛況を博しました。併催した販売機会では、１大会あたりの商品取扱高が過去最高額となりました。

さらに、「顧客参加型企業」は進化を続けており、お客様による「日本和装の応援団」が全国27ヵ所で結成されました。９月には「日本和装の応援団」が企画・主催する販売機会イベントを全国で開催、売上高の向上に寄与しました。

販売機会での商品取扱高向上に伴い、連結子会社日本和装クレジット株式会社における、当社グループのお客様に対するショッピングローン事業も好調に推移しました。外部クレジット会社への支払手数料が減少するとともに、６月には大手２銀行から総額17億円の資金調達を実施、９月には総額20億円のコミットメントライン契約による資金調達枠を確保するなど、順調に業容の拡大を進めております。

これらの結果、売上高は4,309百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

利益面では、８月から９月に展開した、秋期「無料きもの着付教室」の新規受講者募集に係る広告宣伝費を計上したものの、売上原価（着物や帯の縫製に係る費用）や販売費及び一般管理費の抜本的な見直しが功を奏し、営業利益は108百万円（前年同四半期は営業損失267百万円）となりました。

営業外損益では、日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息等を29百万円計上、資金調達手数料として支払手数料21百万円を計上したこと等により、経常利益は54百万円（前年同四半期は経常損失306百万円）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、30百万円（前年同四半期比はマイナス109百万円）を計上しました。

これらの結果、四半期純利益は23百万円（前年同四半期は四半期純損失197百万円）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,967百万円増加して7,410百万円となりました。

流動資産では、現金及び預金が626百万円増加、割賦売掛金が1,408百万円増加したこと等により、総額では1,934百万円増加し、6,115百万円となりました。

有形・無形固定資産及び投資その他の資産には、特記すべき変動はありません。

一方、流動負債につきましては、日本和装クレジット株式会社の運転資金として短期借入金が781百万円増加したこと等により、1,303百万円増加し、3,604百万円となりました。

固定負債は、償還により社債が100百万円減少したことや、日本和装クレジット株式会社の運転資金として長期借入金が750百万円増加したこと等により、1,133百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が22百万円増加いたしました。この結果、前連結会計年度末と比較して20百万円増加し、2,671百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年６月20日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396,073	2,022,078
営業未収入金	508,615	395,810
割賦売掛金	1,632,204	3,040,429
たな卸資産	115,369	123,828
その他	565,761	576,524
貸倒引当金	△36,515	△43,137
流動資産合計	4,181,508	6,115,532
固定資産		
有形固定資産	651,278	694,154
無形固定資産	29,791	23,821
投資その他の資産	579,427	576,491
固定資産合計	1,260,497	1,294,467
資産合計	5,442,006	7,410,000
負債の部		
流動負債		
営業未払金	28,972	28,080
短期借入金	1,556,332	2,337,978
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	－	46,160
前受金	287,317	212,353
営業預り金	11,894	27,334
その他	316,982	852,643
流動負債合計	2,301,498	3,604,550
固定負債		
社債	350,000	250,000
長期借入金	119,212	869,807
その他	19,654	13,827
固定負債合計	488,866	1,133,634
負債合計	2,790,365	4,738,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	1,857,478	1,880,406
株主資本合計	2,653,521	2,676,450
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,652	△7,988
その他の包括利益累計額合計	△4,652	△7,988
新株予約権	2,771	3,353
純資産合計	2,651,640	2,671,815
負債純資産合計	5,442,006	7,410,000

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	4,124,140	4,309,113
売上原価	659,482	574,871
売上総利益	3,464,658	3,734,242
販売費及び一般管理費	3,732,122	3,625,803
営業利益又は営業損失（△）	△267,463	108,439
営業外収益		
受取利息	673	373
その他	3,500	2,901
営業外収益合計	4,174	3,274
営業外費用		
支払利息	19,920	29,386
支払手数料	5,444	21,436
社債発行費	10,039	－
その他	7,639	6,751
営業外費用合計	43,044	57,574
経常利益又は経常損失（△）	△306,333	54,139
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△306,333	54,139
法人税、住民税及び事業税	13,736	15,328
法人税等調整額	△122,997	14,925
法人税等合計	△109,260	30,253
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△197,072	23,885
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△197,072	23,885

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△197,072	23,885
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	226	△3,335
その他の包括利益合計	226	△3,335
四半期包括利益	△196,845	20,550
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,845	20,550

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

３．補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講者及び修了生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対しての仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年２回（春期・秋期）開講しており、春期は第１四半期中に受講者を募集して開講し、受講中となる第２四半期を中心に販売機会を開催して終結します。同じく秋期では、第３四半期中に受講者を募集・開講し、第４四半期を中心に販売機会を開催して終結します。そのため、広告宣伝費を主とする受講者募集に係る経費が第１四半期及び第３四半期に集中して発生し、販売機会による仲介手数料の計上が第２四半期と第４四半期に集中します。

その他、教室の修了生である会員を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る経費及び売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。